

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成21年5月14日(2009.5.14)

【公開番号】特開2008-196734(P2008-196734A)

【公開日】平成20年8月28日(2008.8.28)

【年通号数】公開・登録公報2008-034

【出願番号】特願2007-30131(P2007-30131)

【国際特許分類】

F 24 C 15/02 (2006.01)

F 24 C 7/02 (2006.01)

【F I】

F 24 C 15/02 J

F 24 C 7/02 5 2 1 E

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月27日(2009.3.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

食品を収納して加熱する加熱室を有した本体部と、前記加熱室を開閉する扉と、前記扉を閉じた状態をロックするロック装置とを備えた加熱調理器において、前記ロック装置は、前記本体部と前記扉の一方に設けられて支持部を支点に回動するとともに先端部が回動方向に突出するレバー部材と、前記本体部と前記扉の他方に設けられて前記レバー部材の回動により前記先端部と係合する係合部と、前記レバー部材の回動を規制して前記レバー部材と前記係合部との係合状態を保持する回動規制部とを備え、前記レバー部材は弾性体を有し、前記ロック装置によるロック時に所定の力で前記扉を引いた際に前記弾性体が弾性変形して前記レバー部材と前記係合部との係合を解除できることを特徴とする加熱調理器。

【請求項2】

前記回動規制部はモータにより回転するとともに軸に垂直な平面部と前記平面部に対して傾斜する螺旋状の傾斜部とを有した回転体を備え、前記レバー部材は前記傾斜部との摺動により回動し、前記平面部との当接によって回動が規制されることを特徴とする請求項1に記載の加熱調理器。

【請求項3】

前記回動規制部は前記レバー部材の前記支持部に対して前記係合部から離れた側に当接して前記レバー部材の回動を規制することを特徴とする請求項1または請求項2に記載の加熱調理器。